

令和2年7月豪雨復旧・復興本部会議（第5回）

日 時：令和2年12月15日（火）15:15～

場 所：知事応接室

次 第

1 開 会

2 本部長（知事）挨拶

3 議 事

（1）復旧・復興の状況について

（説明：各部局）

資料1-1 ~ 資料1-10

（2）来年の梅雨時期までに実施する主な喫緊の対策について

（説明：球磨川流域復興局）

資料2

4 そ の 他

5 閉 会

< 資料一覧 >

資料 1-1 総務部 報告資料

資料 1-2 被災鉄道の復旧について（企画振興部）

資料 1-3 発災後 5 か月の復旧・復興の成果と今後の取組み（健康福祉部）

資料 1-4 令和 2 年 7 月豪雨に係る環境生活部の取組み

資料 1-5 令和 2 年 7 月豪雨に係る商工分野の取組状況について（商工労働部）

資料 1-6 被災地域産業再興支援事業によるソフト支援（観光戦略部）

資料 1-7 農林水産関係における復旧・復興の状況について（農林水産部）

資料 1-8 土木部における復旧・復興の取組み（発災から 5 か月）

資料 1-9 教育・文化環境の復旧・復興の状況（教育庁）

資料 1-10 令和 2 年 7 月豪雨被災者等支援交付金の状況について（球磨川流域復興局）

資料 2 来年の梅雨時期までに実施する主な喫緊の対策について

総務部 報告資料

令和 2 年 1 2 月 1 5 日

1 令和 2 年 7 月豪雨に係る職員派遣状況（短期）

⇒別紙 1 のとおり

2 令和 2 年 7 月豪雨に係る職員派遣状況（中長期）

⇒別紙 2 - 1、別紙 2 - 2 のとおり

3 県（総務部）としての被災市町村支援

（1）球磨村役場の組織体制の強化

⇒別紙 3 - 1 のとおり

（2）県職員の派遣状況（短期、中長期）

⇒別紙 3 - 2 のとおり

4 私立学校生徒の通学手段の確保

- ・ JR 肥薩線を利用する生徒の通学支援のための臨時タクシーの運行及び高速バス利用に係る運賃差額の助成（9月7日～）
- ・ 現在、私立高校生徒 2 名が高速バス（人吉⇄八代）を利用している。本事業の申請予定。

令和2年12月15日
総務部

令和2年7月豪雨に係る職員派遣状況(短期)

- 12月9日現在、被災市町村(8市町村)に対し、県、県内市町村、他都道府県から延べ12,365人の職員を派遣。
 ○ 人吉市を除く7市町村は、10月23日で派遣が終了。
 ○ 人吉市は、「資産税減免入力等事務(下記表分類「その他」)」について、12月末まで派遣見込み(1日当たり3人程度)。

【令和2年(2020年)12月9日(水)12時00分時点】

派遣先市町村	派遣元区分	行政体制支援	情報連絡員(LO)	避難所支援	罹災証明関係	災害ごみ処理	その他	合計	一日当たり最大派遣数
八代市	福岡市	19			54			73	50
	神戸市			304				304	
	岡山市		11	304				315	
	熊本県	97	24	4	104			229	
	県内市町村			6		145		151	
	計	116	35	618	158	145		1,072	7月16日
水俣市	福岡県	12						12	29
	北九州市	9			33			42	
	熊本県		22	12				34	
	県内市町村			24				24	
	計	21	22	36	33			112	7月7日
芦北町	佐賀県	28						28	68
	宮崎県	21			360			381	
	熊本県	119	36	293	5			453	
	県内市町村			309	744	501		1,554	
	計	168	36	602	1,109	501		2,416	7月16日
津奈木町	山口県	14			64			78	8
	熊本県		34	10				44	
	県内市町村			10	44			54	
	計	14	34	20	108			176	7月7日
人吉市	熊本市	178		1,204	1,064		416	2,862	116
	広島市		4		20	75	8	107	
	熊本県	375	26	290	72	51	80	894	
	県内市町村			26	125	193	476	820	
	計	553	30	1,520	1,281	319	980	4,683	7月30日
相良村	大分県	40		42	118	93	2	295	20
	熊本県	104	20	4				128	
	県内市町村					52	32	84	
	計	144	20	46	118	145	34	507	7月27日
球磨村	長崎県	124		1,215	252		194	1,785	75
	熊本県	576	1	200		166		943	
	県内市町村			120		18	346	484	
	計	700	1	1,535	252	184	540	3,212	8月4日
山江村	岡山県	19		50	16			85	16
	熊本県	49						49	
	県内市町村			53				53	
	計	68		103	16			187	7月15日
総務省システム		464	15	3,119	1,981	168	620	6,367	294
熊本県		1,320	163	813	181	217	80	2,774	
県内市町村				548	913	909	854	3,224	
総計		1,784	178	4,480	3,075	1,294	1,554	12,365	

①総務省被災市区町村応援職員確保システム、熊本県、熊本県市長会・町村会による短期派遣の職員数を計上。

②保健師派遣は含まない。

③その他：被災者相談窓口支援業務、公費解体関係業務、支援物資受付事務、地域包括支援業務、生活再建窓口業務など

令和2年12月15日
総務部

令和2年7月豪雨に係る職員派遣状況(中長期)

- 被災13市町村から12月9日時点で、107人の派遣要望あり。
 ○ これに対し、全国の自治体から63人の中長期(最短1カ月～最長1年程度。以降は更新)の職員派遣が決定し、うち60人は既に派遣受入れ済(令和3年1月1日で全ての派遣受入れが完了予定)。
 ○ 残り44人については、任期付職員採用や民間委託等により対応予定。

【令和2年(2020年)12月9日(水)時点】

(単位:人)

市町村	発災初期 要望数	12/9時点 要望数	対応			備考
			職員派遣		任期付職員 採用等 (予定)	
			うち受入れ済			
八代市	12	9	5	5	4	・復興推進課を新設(8/4)
人吉市	46	34	24	22	10	・別途、県職員4名派遣 ・復興局の新設(12/1) ・派遣者は主に復興局、道路河川課、農林整備課に配属
南小国町	1	1	1	1	0	・派遣者は建設課に配属
小国町	4	4	1	1	3	・派遣者は建設課に配属
芦北町	19	15	9	8	6	・別途、県職員1名派遣 ・総務課内に復旧・復興推進室を新設(8/17) ・派遣者は主に復旧・復興推進室、建設課に配属
津奈木町	4	2	1	1	1	・派遣者は振興課災害復旧班に配属
錦町	7	0	0	0	0	
湯前町	4	4	0	0	4	
水上村	3	0	0	0	0	
相良村	4	1	1	1	0	・派遣者は税務課に配属
五木村	5	0	0	0	0	
山江村	8	0	0	0	0	
球磨村	51	37	21	21	16	・別途、県職員4名派遣(副村長を除く) ・復旧復興課を新設(8/21) ・派遣者は主に復旧復興課、建設課に配属
計	168	107	63	60	44	別途、県職員9名派遣

令和2年7月豪雨に係る職員派遣状況(中長期) ※職種別

(注)1. 上段は、派遣決定数
2. 下段は、要望数

【市町村分】

(単位:人)

市町村名	計 (a)+(b)	専門職(a)						一般事務 (b)
		土木	建築	農業土木	林業	その他		
八代市	5	5	4		1			
	9	9	8		1			
人吉市	24	14	5	4	4	1		10
	34	21	5	5	5	1	5	13
南小国町	1	1	1					
	1	1	1					
小国町	1	1	1					
	4	4	2		2			
芦北町	9	8	6		2			1
	15	12	7		5			3
津奈木町	1	1			1			
	2	2	1		1			
錦町								
湯前町								
湯前町	4	4	2		1	1		
水上村								
相良村	1							1
	1							1
五木村								
山江村								
球磨村	21	14	6	2	2	2	※ 2	7
	37	25	10	2	3	4	6	12
13市町村	63	44	23	6	10	3	2	19
	107	78	36	7	18	6	11	29

※ 水道専門職

【県分】

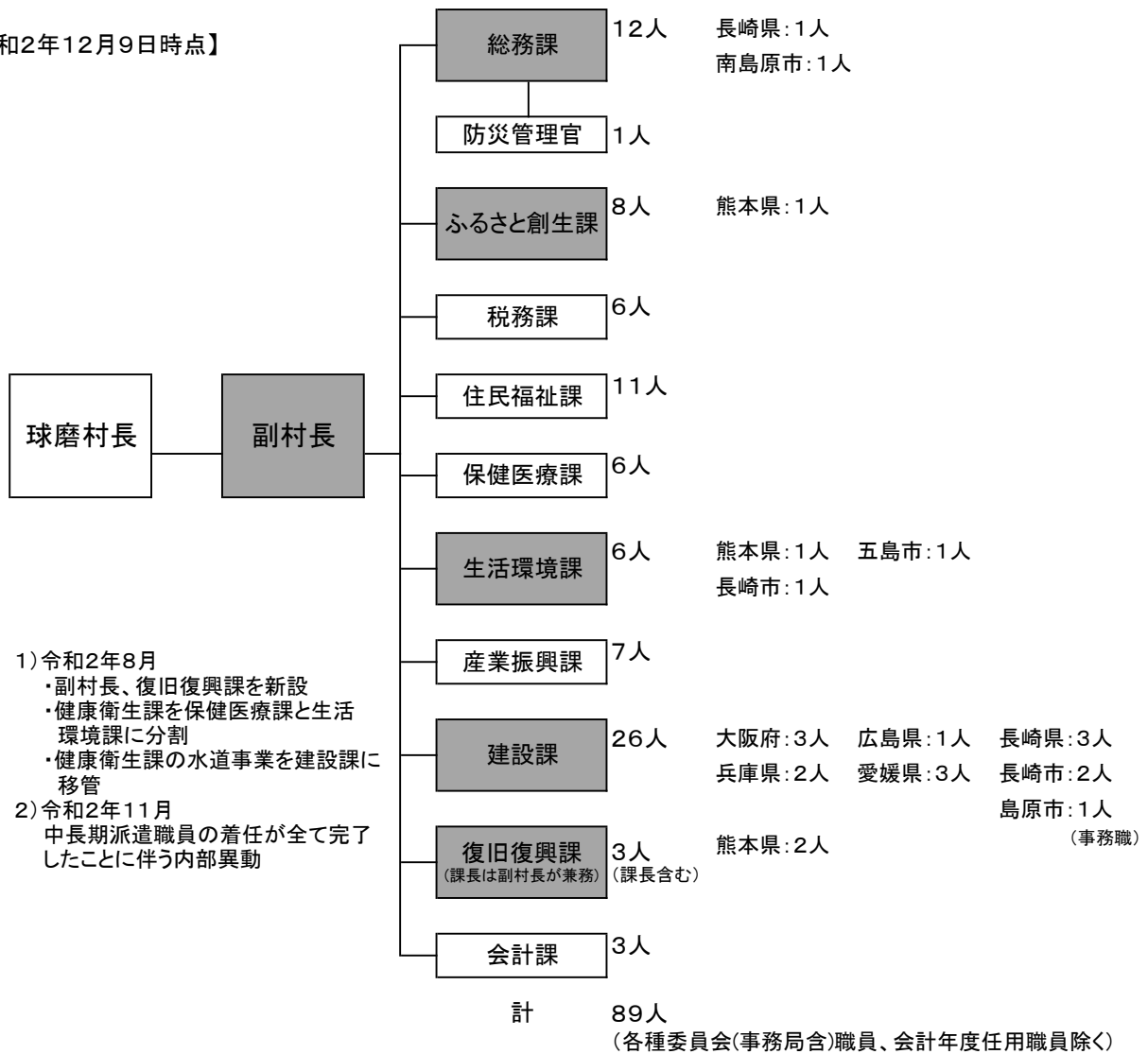
(単位:人)

	計 (a)+(b)	専門職(a)						一般事務 (b)
		土木	建築	農業土木	林業	その他		
熊本県	34	22	15	1	3	3	0	12
	80	46	29	2	3	11	1	34

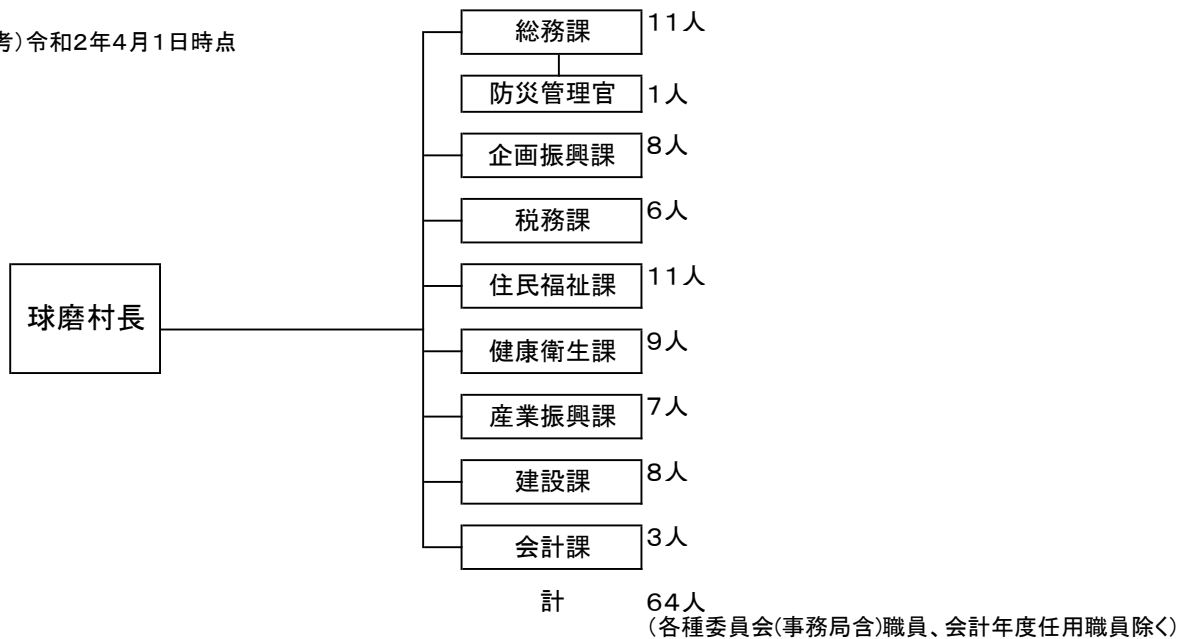
球磨村役場の組織体制の強化

令和2年12月15日
総務部

【令和2年12月9日時点】



(参考) 令和2年4月1日時点



県職員の派遣状況(短期、中長期)

令和2年12月15日人事課

1 豪雨災害に係る市町村への応援職員の派遣状況(短期)

(1) 被災地行政体制支援

派遣の人員体制×派遣期間

区分	派遣期間	延人数	延人数計
八代市	7月4日(土)～8月5日(水)	97	1,320
芦北町	7月4日(土)～8月14日(金)	119	
人吉市	7月4日(土)～8月28日(金)	375	
相良村	7月4日(土)～8月10日(月)	104	
球磨村	7月4日(土)～9月30日(水)	576	
山江村	7月7日(火)～8月10日(月)	49	

(2) 情報連絡員(LO)

実派遣者数(人/日)の計

区分	派遣初日	派遣最終日	延人数	延人数計
八代市	7月4日(土)	7月10日(金)	24	163
水俣市	7月4日(土)	7月9日(木)	22	
芦北町	7月4日(土)	7月16日(木)	36	
津奈木町	7月4日(土)	7月15日(水)	34	
人吉市	7月4日(土)	7月13日(月)	26	
相良村	7月4日(土)	7月10日(金)	20	
球磨村	7月5日(日)	7月5日(日)	1	

(3) 避難所運営支援等

※保健師派遣は含まない。

実派遣者数(人/日)の計

区分	派遣初日	派遣最終日	延人数	延人数計
八代市	7月10日(金)	7月10日(金)	4	893
水俣市	7月7日(火)	7月7日(火)	12	
芦北町	7月8日(水)	9月14日(月)	293	
津奈木町	7月6日(月)	7月8日(水)	10	
人吉市	7月5日(日)	8月10日(月)	370	
相良村	7月10日(金)	7月13日(月)	4	
球磨村	7月5日(日)	9月4日(金)	200	

(4) 罹災証明(被害家屋調査等)

実派遣者数(人/日)の計

区分	派遣初日	派遣最終日	延人数	延人数計
八代市	7月11日(土)	8月21日(金)	104	181
芦北町	7月13日(月)	7月17日(金)	5	
人吉市	7月23日(木)	8月10日(月)	72	

(5) 災害ごみ処理支援

派遣の人員体制×派遣期間

区分	派遣期間	延人数	延人数計
人吉市	7月9日(木)～8月28日(金)	51	51

(6) 堆積土砂撤去支援

派遣の人員体制×派遣期間

区分	派遣期間	延人数	延人数計
球磨村	7月22日(水)～8月31日(月)	166	166

【延人数の市町村別集計】

(人)

八代市	水俣市	芦北町	津奈木町	人吉市	相良村	球磨村	山江村	合計
229	34	453	44	894	128	943	49	2,774

2 中長期豪雨災害に係る被災市町村への地方自治法に基づく派遣状況(中長期)

(12月15日現在)

区分	人数	派遣開始日	市町村における配置所属
人吉市	一般事務4人	9月1日(火)	災害廃棄物対策室
		9月1日(火)	災害廃棄物対策室
		12月1日(火)	復興局
		12月1日(火)	復興局復興支援課
芦北町	一般事務1人	8月21日(金)	復旧・復興推進室
球磨村	一般事務4人	8月21日(金)	復旧復興課
			生活環境課
			ふるさと創生課
			復旧復興課

(参考)8月21日から球磨村に派遣していた職員1人は10月1日に副村長に就任。

肥薩おれんじ鉄道

最後の不通区間となっていた八代～佐敷間の運行が、11月1日に再開し、会社設立以降最大の被害を乗り越えて、約4カ月ぶりに全線で運転が再開。

【被災状況及び再開の経緯】

- [被災状況] 復旧費：約7億円
被災箇所：築堤崩壊、土砂流入等
92箇所
- [部分再開] 7.13～ 水俣～出水（鹿児島県出水市）間
8. 8～ 佐敷～水俣間
全線再開まで各不通区間はバスによる代替輸送を実施



[11.1 記念列車（おれんじ食堂）出発（佐敷駅）]

運転再開により、通勤・通学等地域住民の生活の足が確保された。また、国の「Go Toトラベル事業」を受けて、「おれんじ食堂」の利用も好調な状況。

今後、更なる利用促進を図るため、企画切符の発行やアニメとコラボしたラッピング列車の運行などが計画されている。

くま川鉄道

全線復旧・復興に向け、地元自治体（熊本県、人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村）、くま川鉄道株式会社を構成とする「くま川鉄道再生協議会」を設立。

【設立総会の概要】

日時：R2年12月25日（金）11時30分～

場所：人吉球磨クリーンプラザ

（人吉市赤池水無町1269-1）

議事内容

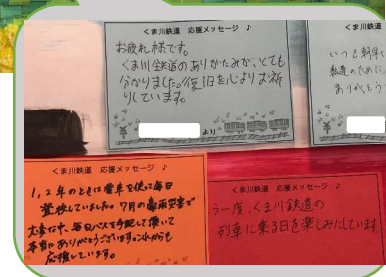
- (1) くま川鉄道再生協議会の規約（案）等について
- (2) くま川鉄道再生協議会の会長等の選任について
- (3) 今後の協議の進め方及び協議会検討事項について
- (4) 今後の要望事項について

主な検討事項

- ・「特定大規模災害等鉄道施設災害復旧事業」活用方針に向けた今後の方針
- ・部分運行に関すること
- ・流失した橋桁撤去に関すること



[復旧を願う地元高校生80人の応援メッセージ（あさぎり駅に併設するポップー館に掲示）]



【代替輸送実績】

7月20日 運行開始（平日） 利用実績：約92,000人（11月末現在）
11月7日 土曜運行開始

J R 肥薩線

知事による治水の方向性表明及び今後の治水プロジェクトの具体策等を踏まえて、J R が復旧に向けた方針等を検討。

不通区間においては、J R 九州による代替輸送及び保護者団体が運行する臨時タクシー等を実施。

【代替輸送概要】

J R 九州

運行形態：ジャンボタクシー（現在はタクシーに変更）

運行開始：R 2 年 9 月 1 0 日

運行区間：八代エリア 八代～坂本
人吉エリア 人吉～一勝地

道路事情により随時延長を検討

利用実績：延べ 7 5 人（11 月末）

保護者団体

運行形態：タクシー

運行開始：R 2 年 9 月 7 日

運行区間：J R 運行区間以外

利用実績：11 月から 2 名利用

その他 高速バスを利用して通学する学生に対する支援も実施

[運行イメージ] (各実施主体が連携)

肥薩線 駅名	八代	段	坂本	葉木	鎌瀬	瀬戸石	海路	吉尾	白石	球泉洞	一勝地	那良口	渡	西人吉	人吉	
八代方面へ	← 高速バス利用 (八代 IC ~ 人吉 IC) →														人吉方面へ	
	← 代替輸送 (J R) →		← 通学支援タクシー →						← 代替輸送 (J R) →							

：県補助対象

【健康福祉部】 発災後5か月の復旧・復興の成果と今後の取組み

- I. 被災された方々に1日も早く被災前の生活を取り戻していただく。
- II. 来年の出水期までに災害弱者への万全な支援体制を整え、確実な避難行動に繋げる。
- III. 医療機関や社会福祉施設等の早期の再建を支援し、地域で安全・安心に暮らせる環境を確保する。

発災直後の支援／住まいの確保／被災者への見守り支援／医療機関・社会福祉施設等の再建

住まいの再建
／災害弱者への支援

生活再建

① 安全・安心な当面の住まいの確保

- 被災された方々の当面の住まいの確保に最優先で取り組み、12月9日にすべての建設型応急住宅が完成
- 賃貸型応急住宅の確保も行い、仮設住宅等への入居が進捗

② 地域支え合いセンターによる見守り活動

- 仮設住宅が建設された7市町村すべてに地域支え合いセンターが設置され、住まいの再建や健康状態等に課題がある被災世帯の見守りや相談対応など、一人一人に寄り添った支援を実施
- 特に在宅被災者が多い地域では、普段から地域住民との関わりが深い民生委員がセンターの相談員として活動するなど、より円滑で効果的な支援に繋がるよう配慮

現況・実績

建設型応急住宅入居状況 (11/25時点)	743戸 (1,822人)
賃貸型応急住宅入居状況 (11/25時点)	680戸 (1,627人)
公営住宅入居状況 (11/25時点)	252戸 (505人)
避難所への避難者数 (12/7時点)	71人
地域支え合いセンター訪問等支援 (11月末時点)	2,240件



(鍵引き渡し式)



(ムービングハウス)

- 地域支え合いセンターの訪問活動等を通じて、住まいの再建を含めた世帯ごとの課題を把握し、個別支援計画を作成したうえで、一人一人に寄り添ったきめ細かな支援を実施

③ 住まい再建のための5つの支援策を創設

- 被災者一人一人の意向に添った住まいの再建を実現するため、住まいの再建に関する各種支援策を創設 (リバースモーゲージ利子助成、自宅再建利子助成、転居費用助成、民間賃貸住宅入居助成、公営住宅入居助成)

- 5つの支援策を通じて、被災前の生活を1日も早く取り戻していただくよう支援を実施

④ 来年の出水期までに災害弱者への支援体制を整備

- 市町村が策定する避難行動要支援者(高齢者・障がい者等)の避難支援に関する個別計画について、今回の豪雨災害を踏まえた検証や見直しを支援
- 要配慮者が利用する施設の避難確保計画の作成及び避難訓練の実施を支援

- 流域市町村等における個別避難計画及び要配慮者利用施設避難確保計画を策定し、災害弱者を支援

⑤ 医療機関・社会福祉施設等の再建と防災・減災対策の推進

- 各種災害復旧補助制度やなりわい再建補助金を活用し、被災した医療機関・社会福祉施設等の早期の再建を国と連携して支援
- 垂直避難エレベーターの整備など、高齢者施設等における防災・減災対策の推進

- 被災前の医療・福祉サービス提供体制を早期に取り戻すことができるよう丁寧に対応

令和 2 年 7 月豪雨に係る環境生活部の取組み

R2.12.15 環境生活部

1 水道施設の復旧

被災状況

- ・断水戸数：19 市町村 約 28,000 戸

復旧に係る対応

- ・公営水道施設復旧

国庫補助 《災害査定済み》 被害額：約 3 億円

- ・地域営水道施設復旧

球磨川流域復興基金（単県）

2 公費解体等の進捗状況

別紙のとおり

令和2年7月豪雨 公費解体等の進捗状況について

1 公費解体等の申請・完了件数 (23市町村)

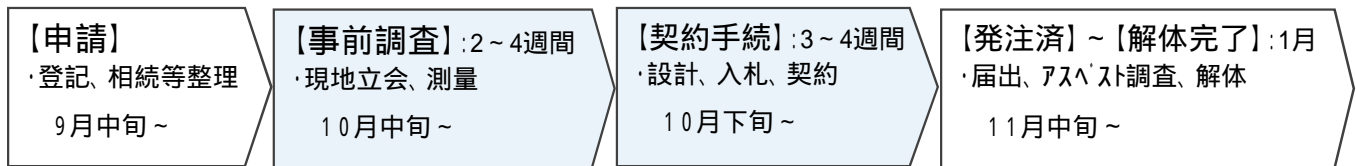
区分	11月末 時点		
	受付件数	解体完了	進捗率
公費解体等 総数	1,574	115	7.3%
公費解体 ・市町村が工事实施	1,367	3	0.2%
自費解体 ・所有者が工事实施 ・経費は市町村が負担	207	112	54.1%



解体工事の様子 (青井阿蘇神社前)

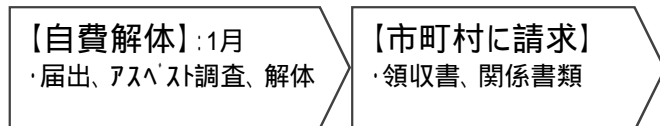
2 公費解体等の流れ

(1) 公費解体 (時期は市町村における実績例)



申請受理から公費解体発注まで1~2か月

(2) 自費解体

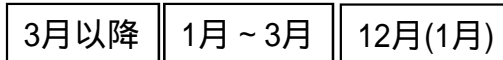


事前調査・契約手続等がないため早期に解体可能

(3) 解体数が多い市町村の公費解体進捗 (11月末現在)

市町村	申請件数	着手件数 (着手率)	進捗状況			
			事前調査	契約手続	発注済	解体完了
八代市	213	160 (75%)	40	120	0	0
人吉市	538	250 (46%)	100	137	13	0
芦北町	248	133 (54%)	50	50	31	2
球磨村	250	175 (70%)	50	125	0	0
合計	1,249	718 (57%)	240	432	44	2

工事完了見込み



➡ R3.12月までにすべての解体工事を完了

令和2年7月豪雨に係る商工分野の取組み状況について

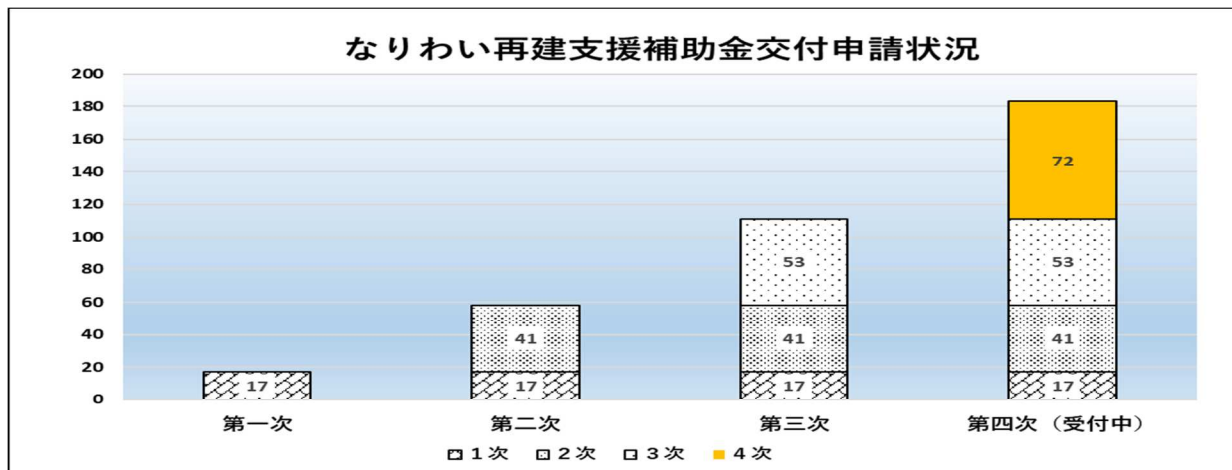
R2.12.15 商工労働部

1 なりわい再建支援補助金の交付申請状況等について

(1) これまでの申請状況等

交付申請状況

- ・ 第一次受付(令和2年8月31日～9月18日) 17件
 - ・ 第二次受付(令和2年10月2日～10月16日) 41件
 - ・ 第三次受付(令和2年11月2日～11月16日) 53件
 - ・ 第四次受付中(令和2年12月1日～12月15日) 72件(12月14日現在)
- 合計 183件受付



相談対応状況

- ・ 相談窓口を県内19箇所設置(商工会議所、商工会、中小企業大学校人吉校)
相談窓口での相談件数 延べ約2千件(11月末現在)
- ・ 9月7日に専用の受付センターを設置(県庁前のビル)
受付センターでの電話相談件数 延べ581件(12月14日現在)

(2) 今後の交付申請受付

- ・ 第五次受付(令和3年1月5日～1月18日)
- ・ 第六次受付(令和3年2月1日～2月15日)(予定)
- ・ 第七次受付(令和3年3月1日～3月15日)(予定)

参考 令和2年度被災小規模事業者再建事業(持続化補助金令和2年7月豪雨型)
被害を受けた小規模事業者の復旧・復興を推進するため、被災小規模事業者が作成する経営計画に基づく事業再建に向けた機械設備の購入や販路開拓等の費用を補助
【補助率】2/3(一定の要件を満たすものは定額)
【補助上限額】200万円(直接被害)100万円(間接被害)
【採択数】400件

2 仮設商店街設置状況について

(1) 各市町村の状況について（中小企業基盤整備機構による支援）

・人吉市

設置場所： 人吉駅前広場駐車場（22店舗入居予定）

総合交流館くまりば（3店舗入居予定）

開設時期： 令和3年2月中旬以降（グランドオープン）

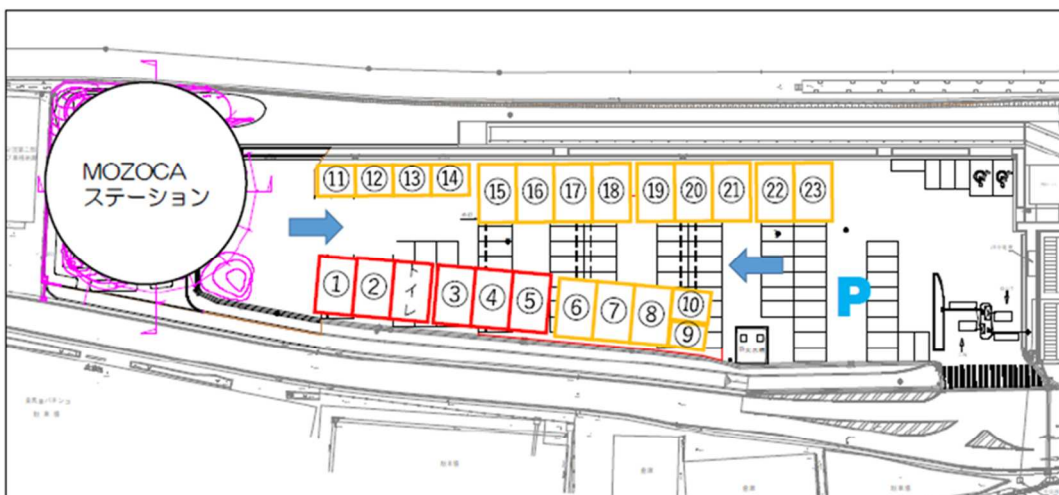
第1期・・・令和2年12月中に5店舗に引き渡し予定。

内装などの準備が整った店舗から順次営業開始。

第2期・・・令和3年1月中に17店舗に引き渡し予定

時期未定

<人吉駅前広場駐車場の配置図>



・八代市

設置場所：道の駅「坂本」敷地内（11店舗入居予定）

開設時期：令和3年5月予定

・球磨村

設置場所：球磨村総合運動公園内、さくらドーム付近（2～3店舗入居予定）

開設時期：令和3年5月予定

(2) 県の支援について

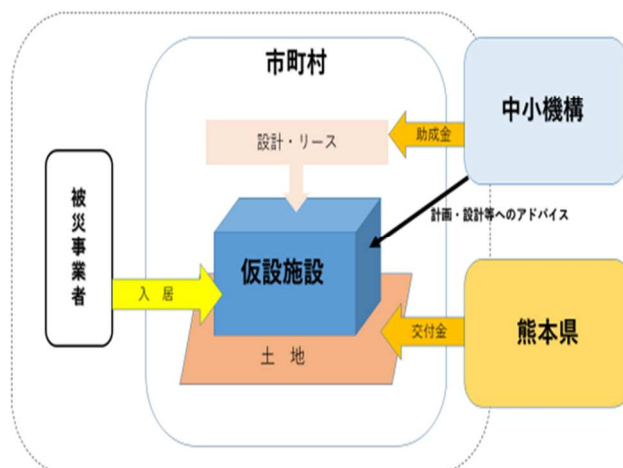
仮設商店街整備支援事業（ ）により、市町村が仮設商店街を設置する際の整備に要する経費を支援

令和2年7月豪雨の被災者等支援事業交付金のメニューの一つ

- ・対象：土地の借地、土地の造成、地盤改良、看板設置、建物等賃借に必要な経費

・補助率：10 / 10

・上限額：1商店街当たり10,000千円



3 その他（企業誘致等の状況）

(1) 県南地域（豪雨被災市町村）への立地協定について（7月豪雨以降）

協定日	立地企業名	本社所在地	立地市町村	経緯・企業概要
R2.7.22	(株)西原商会	鹿児島県	八代市	鹿児島を本社とする食品卸業の会社。新たに物流倉庫を八代市の八代IC近くへ建設する計画。
R2.11.13	(株)Syunworld Web	東京都	芦北町	芦北町が県補助金も活用して整備した旧計石小サテライトオフィス内に立地し、令和3年1月から営業開始。Youtube漫画動画の配信事業を行う予定。
R2.12.14	(株)アチーブメント	東京都	八代市	損害保険のコールセンターを令和3年7月に開設予定。



(2) 八代港における台湾航路開設について

- ・ 八代港と台湾とを結ぶ国際コンテナ定期航路の就航（週1便）が決定
- ・ 本県と台湾を結ぶコンテナ航路の開設は初。（現在は八代港～釜山港のみ）
- ・ 新規就航により八代港における国際コンテナ定期航路が週3便から週4便へ

就航船社概要	航路	八代港寄港日	第1便予定
愛媛オーシャン・ライン株式会社(I-LINE) ※本社：愛媛県松山市	八代→那覇→台湾3市(基隆→台中→高雄)→那覇→九州各港(志布志→細島→大分)→広島→松山→釜山(韓国)→八代のルートで周回	毎週金曜日	令和3年1月8日



被災地域産業再興支援事業によるソフト支援

新型コロナウイルス感染症による影響に加え、令和2年7月豪雨により被災した地域は、「地域産業」、「まち」そのものが失われかねない危機に直面。被災事業者の生業再建に向け、当面の収益確保や地域産業一体となった賑わい創出など、地域の核となる団体の活動を支援し、地域産業全体の再興を総合的に後押し。（ 予算総額：3億円）

交付決定団体一覧

	団体名	主な事業
1	(一社)人吉温泉観光協会	<ul style="list-style-type: none"> 事業の本格再開に時間を要する「球磨川くんだり」の当面の収益確保のため、サイクリング事業の開始など業務の多角化を支援 人吉温泉女将の会「さくら会」による営業再開に向けた正確な情報発信
2	人吉球磨観光地域づくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> 「くま川鉄道」の残存した線路区間を活用したレールサイクル事業による集客・収益確保【写真】 来春一部再開を目指す「球泉洞」における音声案内設備設置など受入環境整備
3	球磨焼酎酒造組合	<ul style="list-style-type: none"> 被災した焼酎蔵の製造再開のため、機械のリース、他の蔵元に製造の一部を委託する際の経費を支援 復興を全国にアピールするため、統一復興ラベル等リブランディング
4	球磨焼酎蔵ツーリズム協議会	<ul style="list-style-type: none"> 各蔵元の個性に応じた見学プランの造成など、焼酎蔵ツーリズムの受入体制整備 焼酎ハイボールなど、球磨焼酎の新しい飲み方の提案による販路拡大【写真】
5	球磨川ラフティング協会	<ul style="list-style-type: none"> H P等における予約機能の集約、体験価格・メニューの統一化を行い、球磨川アクティビティのブランディングを図る SUP(スタンド・アップ・パドル)などの新しいアクティビティ導入
6	人吉商工会議所	<ul style="list-style-type: none"> 仮設商店街におけるイベントを定期的で開催し、継続的な賑わい創出を図る 復興コンテナマルシェを市内中心部に設置し、仮設商店街と連動した面的な活性化を図る
7	球磨村商工会	<ul style="list-style-type: none"> 道路の寸断や商店等が被災したことに伴い、日常の買い物に困難となっている村民に対して移動販売を実施 応急仮設住宅等においてイベントを開催し、村民の交流の場を確保
8	人吉東九日町商店街振興組合	<ul style="list-style-type: none"> 川上哲治記念eスポーツ大会の開催など、新たな観光コンテンツを創出
9	(一社)青井の杜外苑街づくり協会	<ul style="list-style-type: none"> 青井阿蘇神社等においてイベントを定期的で開催し、継続的な賑わい創出 飲食店やビジネスホテルなどの再開状況を正確に発信し、事業再開を支援
10	水俣・芦北地域雇用創造協議会	<ul style="list-style-type: none"> 施設の復旧に時間を要する旅館や飲食店の当面の収益確保のため、仮設の食堂設営や移動販売を支援【写真】 将来の新たな収益の柱を創出するため、既存商品の高付加価値化やオンライン販売向けの新商品開発などを支援
11	水俣芦北地域観光推進協議会	<ul style="list-style-type: none"> 「おれんじ鉄道」全線復旧記念イベントを開催するとともに、アニメ「放課後ていぼう日誌」のラッピング列車を運行 観光客の周遊促進のためスタンプラリーを実施
12	杖立温泉観光協会	<ul style="list-style-type: none"> 被災した蒸し場の再整備とともに、蒸し物用自動販売機設置等を支援 春の風物詩「こいのぼり祭り」の開催に向けて、被災したこいのぼり用ポール等を整備
13	南小国町観光協会	<ul style="list-style-type: none"> 竹灯籠で温泉街を灯す「湯あかり」を拡大し、ナイトタイムエコノミー推進 コロナ禍においても観光案内所機能を継続するため、リモート案内所の整備 ワーケーションの受入環境を整備するとともに、企業等へのPR実施



くま川鉄道による
レールサイクル事業
(先進地の視察風景)

焼酎サーバー導入による
焼酎ハイボール等
新しい飲み方の提案



芦北町の名産品
(太刀魚の竹巻)
を販売し当面の
収益確保を支援

農地・農業用施設や山地・治山施設、林道の復旧に向けて、発災直後から、熊本型簡素化査定への導入や災害復旧工事書類の作成支援等により、順次、復旧工事に着手
被災した農地・農業用施設等の応急復旧や施設・機械の補改修等により、営農の継続・再開を支援

1. 災害復旧工事について

(査定箇所数は、令和2年12月4日現在)

農地・農業用施設

- ・約4,000箇所のうち約3,000箇所が査定終了し、一部の被災農地において工事に着手(年内に査定終了見込み)

山地・治山施設

- ・緊急治山113箇所のうち32箇所が採択、採択箇所は実施設計段階に移行
- ・災害復旧25箇所すべてが査定終了。今後、設計積算を行い順次発注の予定
- ・流木被害につながる渓流域での危険木の把握を市町村と協力し、順次実施予定

林道

- ・約680箇所のうち約400箇所が査定終了し、一部の被災路線において工事に着手(令和3年1月までに査定終了見込み)

被災農業用施設(水路)の復旧状況(阿蘇地域)



林道の啓開状況(林道椎屋線(球磨村))



2. 営農再開に向けた支援について

一部の地域では、多面的機能支払交付金を活用した応急措置により、営農が再開され、稲収穫を実施
発災直後から関係機関やボランティア等の支援により、ハウス(イチゴ)内の土砂撤去等を実施、収穫中
芦北地域では、機械補修やタマネギ苗供給等への支援により被災農業者の営農継続が可能となり、前年並みの作付けを予定
被害が大きかった葉たばこについて、被災農地以外で土地を確保する等により、次期作に向け作業開始
強い農業・担い手づくり総合支援交付金(被災農業者支援型)の事業要望件数3,369件(県内24市町村)

多面的機能支払交付金を活用した応急措置



被災ハウスにおける営農再開



土木部における復旧・復興の取組み（発災から5か月）

災害査定を進捗

- ・12月3日現在、災害査定(県分・市町村分)の約83%を終了。被災件数3,619件中、2,993件完了。残る626件、1月中旬の完了を目指す。
- ・査定が終わった箇所から順次復旧工事に着手し、早期完了を目指す。
- ・発災直後から、芦北及び球磨の両振興局へ土木部職員を派遣し、査定業務を支援。

地域	被災件数	～12/3査定終了	残件数
全県	3,619	2,993	626

うち県南地域

地域	被災件数	～12/3査定終了	残件数
八代	218	161	57
芦北	843	700	143
球磨	983	742	241

河川の掘削

- ・河川内に堆積した土砂は、推定約107万 m^3 。
- ・これまで約40万 m^3 の掘削工事を発注済み、うち約11万 m^3 を撤去完了。
- ・来年梅雨期の出水に備えるため、早期完了を目指す。

万江川(山江村) 天月川(芦北町)

地域	堆積土砂量(m^3)	工事発注済の量(m^3)	撤去済の量(m^3)
全県	1,066,000	401,000	106,000

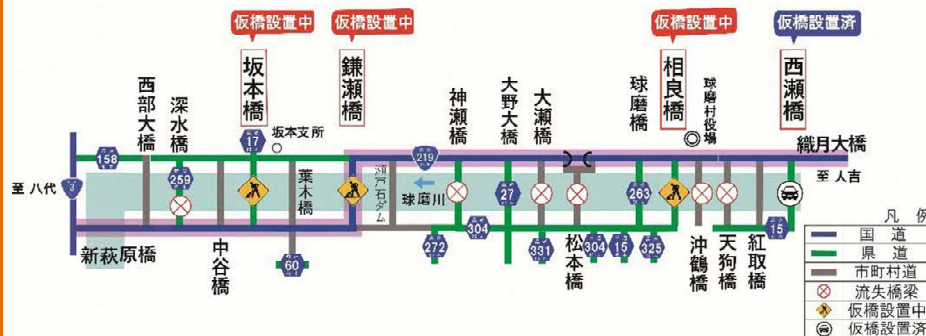
うち県南地域

地域	堆積土砂量(m^3)	工事発注済の量(m^3)	撤去済の量(m^3)
八代	8,000	1,000	1,000
芦北	105,000	42,000	29,000
球磨	752,000	234,000	55,000



国道219号等の啓開・復旧

- ・7月6日、国道219号の啓開作業を開始。
- ・8月11日、八代市から人吉市を結ぶ球磨川沿いの啓開ルート整備が完了。
- ・現在、流失した橋桁等の撤去や、鎌瀬橋、坂本橋、相良橋の仮橋設置等の被災箇所の災害復旧工事を推進。



応急仮設住宅の建設

- ・発災1週間後から建設に着手し、早い団地では7月31日に完成。
- ・7市町村・24団地・808戸すべての住宅が12月9日までに完成。
- ・17団地20棟のみんなの家も完成。

市町村	団地数	戸数	完成時期	みんなの家
八代市	2	40	9月～10月	2棟
人吉市	13	380	8月～12月	11棟
芦北町	1	60	9月～10月	1棟
津奈木町	1	10	9月	1棟
相良村	2	24	8月～9月	-
山江村	1	25	8月	1棟
球磨村	4	269	7月～10月	4棟
計	24	808		20棟



市房ダムで捕捉した流木処理について

- 令和2年7月豪雨では、市房ダムで約20,000m³の流木を捕捉。流木がダム下流に流下し、橋梁に捕捉されることなどによる浸水被害の発生を軽減・防止したものと推定される。
- 撤去作業は、日頃から森林事業に従事し、木材を扱う専門的知識を有する管内森林組合へ委託¹。
- 撤去した流木は、処分コストの縮減や復旧・復興プランの基本理念である「グリーン・ニューディール」の理念を踏まえ、一部を薪等として再利用できるように加工し、希望される方に配布することとしている²。

1 入札の結果、4工区中2工区について、上球磨森林組合、球磨村森林組合が受注

2 令和3年1月12日からダム湖内の所定の仮置き場にて、加工が完了したものを適宜、配布予定

捕捉状況



着手前



部分完了



撤去・加工状況



湯山川



1 学校の復旧状況等

(1) 県立学校

被災状況

- ・芦北高校 : 校舎、体育館、グラウンド、農場・温室等の浸水
- ・芦北支援学校 : 校舎、校長宿舎の浸水
- ・八代清流高校 : グラウンド、武道場等の浸水
- ・球磨中央高校 : グラウンド、校長宿舎の浸水
- ・球磨工業高校 : 法面崩壊

復旧状況

- ・被害の大きかった芦北高校及び芦北支援学校校舎は、令和3年夏頃完了見込み。
- ・その他の学校は年度内に完了予定。

現状

- ・芦北高校・芦北支援学校 : セミナーハウスや特別教室等を活用して授業実施中。

(2) 市町村立学校

被災状況

- ・渡小、佐敷小、佐敷中 : 校舎、グラウンドの浸水等
- ・湯浦小ほか7校 : 敷地内の法面崩壊等

復旧状況

- ・相良北小は復旧完了。
- ・被害の大きかった渡小、佐敷小、佐敷中は来年度以降の完了見込み。
- ・その他の学校は、概ね年度内完了。

現状

- ・渡小 : 一勝地小の教室等やコンテナハウスを使用して授業実施中。
- ・佐敷小 : 10月12日から自校内の仮設校舎等で再開。
- ・佐敷中 : 自校の2～3階を使用して授業実施中。
- ・八竜小、坂本中 : 通学路寸断により他校の教室を使用していたが、12月14日から自校で再開。

2 学習の遅れへの対応

- ・文部科学省の事業（事業者と連携したICT環境整備による学習支援）を受け、渡小をはじめ被災した学校にパソコン300台等を配備。
- ・被災した児童生徒に対してきめ細かな学習指導を行うため、教員を8人加配。
- ・県内大学等の学生や社会人から学習支援ボランティアチームを募り、延べ180チーム、262人を派遣。



学習ボランティアによる支援の様子

3 児童生徒の心のケア

- ・心のケアや家庭への支援に対応するため、スクールカウンセラー（ＳＣ）及びスクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）の活動を３管内（球磨・芦北・八代）において拡充（ＳＣ及びＳＳＷの活動時間を各１２００時間拡充）

心のケアを必要とする児童生徒数２８９人（１０月３０日現在）

4 通学者等の支援

代替輸送バスの運行を行う鉄道会社への支援

- ・肥薩おれんじ鉄道（対象生徒数：約３６０人） Ｒ２年１１月１日から全線復旧
- ・くま川鉄道（対象生徒数：約８５０人）

J R肥薩線を利用する生徒の通学支援のための臨時タクシーの運行及び高速バス利用に係る運賃差額の助成

くま川鉄道を利用する定時制生徒の帰宅用タクシーの運行に要する経費を支援

5 被災した児童生徒への経済的な支援

- ・被災により経済的に就学困難となった小中学校の児童生徒の保護者へ学用品費や通学費、学校給食費等の就学資金を援助する市町村を支援。
- ・被災により家計急変した世帯の高校生等を支援するため、授業料の減免、育英資金の緊急貸与、返還猶予及び奨学のための給付金支給を実施。
- ・令和３年度（２０２１年度）県立高等学校及び県立中学校入学者選抜手数料を免除。
- ・令和３年度（２０２１年度）県立高等学校の入学金を減免。

6 文化財の復旧

被災状況

- ・青井阿蘇神社（国宝）など８３件。
浸水、土砂流入、法面崩壊等。

復旧状況

- ・建造物は汚泥の除去、消毒、乾燥を、美術工芸品はクリーニング、応急処置を実施。復旧に向けての工法検討や補助申請を支援。



青井阿蘇神社

7 公民館や地域コミュニティへの支援

- ・被災した自治公民館の建替及び修繕に要する経費の支援（復興基金活用）。
- ・被災した地域・集落における地域コミュニティの場として長年利用されてきた施設（お堂や祠等）の再建に要する経費の支援（復興基金活用）。

令和2年7月豪雨による球磨川流域における生活の再建並びに市街地及び集落の復興の推進等、当該地域における安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを目的に本年9月に「熊本県球磨川流域復興基金」を創設し、30億円(全額一般財源)を積み立て。

本基金等を活用して、住まいの再建や公共施設・地域コミュニティ施設の復旧など、被災地や被災者のニーズに対して、地域の特性も加味しながら、きめ細かに対応するため、「令和2年豪雨被災者等支援交付金」を創設。

特に被災者の生活支援、地域コミュニティ施設の復旧支援など早期の実施が望まれるものについて、10月28日に専決処分により17事業 約8億円を予算化。

基金分：6.3億円、一般財源：1.7億円(県分約1億円、流域市町村以外分 0.7億円)

球磨川流域12市町村が実施する市町村事業の財源は、標記基金、県及びその他の市町村が実施する事業の財源は、一般財源にて対応



< 交付金を活用した主な事業（市町村事業） >

詳細は裏面のとおり

住まいの再建支援事業 (127,750千円)	地域コミュニティ施設等 再建支援事業 (27,390千円)	自治公民館再建支援事業 (104,760千円)	仮設商店街整備支援事業 (20,000千円)
応急仮設住宅からの転居費用や民間賃貸住宅・公営住宅に入居する際の費用への助成や自宅再建の際の借入額に係る利子助成 等	被災した地域における地域コミュニティの場として長年利用された施設等（神社・お堂・祠）の再建に要する経費を支援	被災した自治公民館を所有する集落又は自治会等に対する建替及び修繕に要する経費を支援	（独）中小企業基盤整備機構の助成事業を活用して、仮設商店街を設置する場合の経費を支援

令和2年7月豪雨被災者等支援交付金 要望額一覧

(千円/単位)

事業名	担当	基金対応小計	一財対応小計	合計
放課後児童クラブ利用者支援事業	子ども未来課	2,676	0	2,676
復興支援ボランティア連携推進事業	地域支え合い支援室	3,000	0	3,000
仮設住宅等コミュニティ形成支援事業	地域支え合い支援室	1,022	0	1,022
復興関連ボランティアセンター等運営推進事業	地域支え合い支援室	7,200	0	7,200
被災者見守り対策強化事業	地域支え合い支援室	2,452	0	2,452
農地等被災農業者生活支援事業	農産園芸課	4,400	0	4,400
生活再建支援事業	地域支え合い支援室	423	0	423
住まいの再建支援事業(転居費用助成)	すまい対策室	19,100	100	19,200
住まいの再建支援事業(民間賃貸住宅入居助成)	すまい対策室	10,600	0	10,600
住まいの再建支援事業(公営住宅入居助成)	すまい対策室	700	0	700
住まいの再建支援事業(県分)	すまい対策室	0	97,250	97,250
地域営水道施設復旧事業	環境保全課	23,759	0	23,759
農地の自力復旧支援事業	農地整備課	15,605	28,785	44,390
私道復旧事業	建築課	934	0	934
農業用水路・農道の自力復旧支援事業	農地整備課	9,670	37,386	47,056
地域コミュニティ施設等再建支援事業	文化課	26,640	750	27,390
自治公民館再建支援事業	社会教育課	104,760	0	104,760
消防団詰所等再建支援事業	消防保安課	1,435	0	1,435
商店街等街路灯管理支援事業	商工振興金融課	150	0	150
仮設商店街整備支援事業	商工振興金融課	20,000	0	20,000
	合計	254,526	67,021	418,797

上記執行見込みは、現時点での各市町村の要望額を積み上げたものであり、今後の復旧・復興や事業の進捗状況により、大幅に変更することもあります。

令和2年7月豪雨からの復旧・復興プラン P2

3 新たな治水の方向性を踏まえた治水・防災対策 及び 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

流域全体の総合力による“緑の流域治水” ~生命・財産を守る安全・安心の最大化と環境への影響の最小化のベストミックス~

新たな治水の方向性を踏まえた、抜本的な対策

- 「緑の流域治水」の1つとして、住民の「命」と地域の宝の「清流」をともに守る「新たな流水型のダム」の推進

速やかな再度災害防止のための緊急治水対策

- ・ 河道掘削、堤防整備などの河川改修の計画的実施
- ・ 堆積した土砂・流木の早期撤去
- ・ 球磨川支川や佐敷川等の災害復旧や改良復旧
- ・ 山地災害の早期復旧と砂防・治山施設の整備
- ・ 市房ダムの事前放流などへのフル活用に向けた農業者等との連携による再開
- ・ 地域と連携した水田貯留機能のフル活用による「田んぼダム」の推進
- ・ 奥山への広葉樹の導入など多様で健全な災害に強い森づくり など

※遊水地等の「緑の流域治水」の具体的な対策は、球磨川流域治水協議会の議論を経て、R2年度内に球磨川流域治水プロジェクトとして公表。

“生命・財産を守る” 地域防災力の強化

- 災害時の命綱となる伝達機能の強靱化
 - ・ 戸別受信機の設置、警報サイレン・警告灯の増設等、あらゆる手段による避難の発信力強化
 - ・ 通信回線の多重化による災害に強い情報通信網の構築
 - ・ 河川監視カメラや危機管理型水位計の増設
 - ・ ライブカメラやSNS等を活用したスマート防災の実現
- 確実な避難による「逃げ遅れゼロ」
 - ・ 最大規模の洪水(L2)に対応したハザードマップ作成と流域住民参加型訓練の実施
 - ・ 全ての流域市町村における実効性のあるタイムラインの策定
 - ・ 命を守る「マイタイムライン」の普及と率先避難者（ファーストペンギン）の育成
 - ・ 地区防災計画の作成や地域のリアルハザードマップ化（街頭への浸水深や避難所などの標識設置）
 - ・ 広域避難や予防的避難の実施、安全で身近な避難場所・避難路やヘリポート等の確保
 - ・ 地域の防災情報やダムなどの治水に関する正確な知識の共有
- 災害弱者への支援の徹底・災害時の財産被害への備え
 - ・ 高齢者や障がい者など配慮が必要な全ての世帯での要支援者個別計画の作成・検証
 - ・ 要配慮利用施設での早期の避難確保計画の100%作成及び訓練実施
 - ・ ローカル5Gなどの通信技術を活用した避難支援システムの構築
 - ・ 浸水想定エリアの住民への家屋や農作物等に対する保険等への加入促進

I すまい・コミュニティの創造

～ 安全・安心な住まいの確保と子ども高齢者も暮らしやすいまちづくり ～

- ・ かさ上げ等による宅地再生と高台等の安全な場所への移転促進 ・ 景観に配慮した中層等災害公営住宅の整備
- ・ 垂直エレベータの整備など、介護施設等における防災・減災対策の推進
- ・ 応急仮設住宅等の提供による住まいの確保 ・ 災害廃棄物の早期適正処理
- ・ リバースモーゲージ利子助成等を活用した県独自の住まいの再建支援
- ・ 「地域支え合いセンター」による被災者の生活再建に向けた総合的な支援
- ・ 介護予防等を図るリハビリテーション活動の支援
- ・ みんなの家を活用した地域コミュニティの確保 ・ 住民の意向に沿ったコミュニティ再生の支援
- ・ こころのケアセンターによる巡回・相談などを通じた被災者のこころのケア
- ・ 球磨村や八代市坂本町等の医療・福祉・教育・金融・行政などの生活サービス基盤の早期再建

III 災害に強い社会インフラ整備と安心して学べる拠点づくり

～ いかなる災害が起きても、生命・財産・教育環境を守り抜くインフラの強靱化 ～

- ・ 国道219号をはじめとする県南地域道路の全面通行止めの解消
- ・ JR肥薩線、くま川鉄道、肥薩おれんじ鉄道の早期復旧
- ・ 道路・橋梁・電気・通信・水道などライフラインの早期復旧
- ・ 被災した警察施設・公民館等の早期復旧
- ・ 消防団詰所等の再建・災害車両・装備等の充実
- ・ 代替バスの運行等による通学手段の確保、学校の再開・学習機会の確保
- ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等による被災した児童生徒等への心のケア
- ・ 被災した児童・生徒等に対する支援、放課後児童クラブ利用者の支援

II なりわい(生業)・産業の再生と創出

～ 1日も早い事業再開と地域の資源を生かした新たな“仕事の創出” ～

- ・ なりわい再建支援補助金等による事業再建 ・ 雇用の維持・確保及び離職者等の就労支援
- ・ 被災企業の事業継続支援と新たな投資の誘発 ・ 八代港の物流拠点強化と新規コンテナ航路の開設
- ・ 地域の活性化や課題解決を図るコミュニティビジネス等の支援
- ・ 被災した農業者への営農再開等の支援 ・ 農地・農業用施設や林業・治山施設等の早期復旧
- ・ 仮設商店街の開設支援や商店街等の機能回復支援 ・ 海域・海岸に漂流・漂着した流木等の処理

IV 地域の魅力の向上と誇りの回復

～ 球磨川の宝を次代につなぎ、地域の恵みと誇りを生かす ～

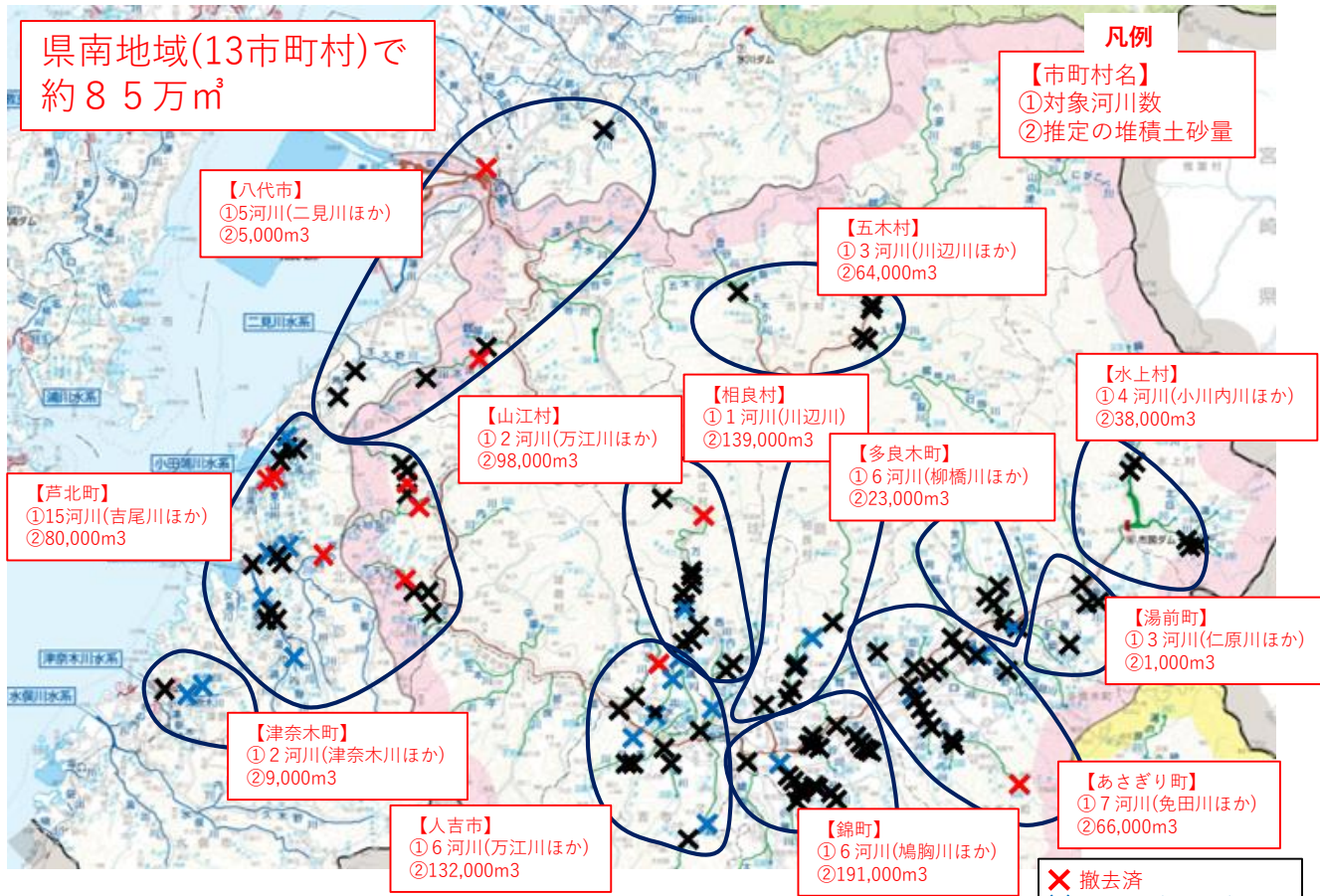
- ・ 歴史五百年の人吉温泉の復活 ・ 球磨川くだり・ラフティングの再開
- ・ 大鍾乳洞球泉洞、道の駅「さかもと」の再開
- ・ 国宝青井阿蘇神社、相良三十三観音など被災した文化財の復旧
- ・ 被災した地域・集落における地域コミュニティの場として長年利用されている施設等の再建
- ・ 被災したエリアへの観光需要喚起策の実施 ・ 若者の地元定着、ふるさと回帰の促進

復旧・復興に向けて、直ちに実施する喫緊の取組み(令和2年補正予算等で迅速に対応)

速やかな再度災害防止のための緊急治水対策

堆積した土砂の早期撤去

○今次洪水により県管理河川に堆積した土砂約85万³m³（うち球磨川流域：約79万³m³）の掘削に着手。
 ・R2年11月末時点で約9万³m³（うち球磨川流域：約6万5千³m³）の土砂撤去を完了。
 ・R3年度出水期に向け、さらに約76万³m³（うち球磨川流域：約73万³m³）の土砂撤去を推進。【河川課】



川辺川での掘削状況 (相良村永江)



芦北町 (天月川)



※各数値は11月末時点の集計（速報値）であり、変更の可能性があります。
 ※権限代行（9河川）については当該集計に含まない。

速やかな再度災害防止のための緊急治水対策

支川の災害復旧・改良復旧

【応急復旧】

○県南地域で被災した河川のうち、緊急性の高い山田川や万江川等、全49箇所について、早急に応急工事に着手し、応急工事完了。【河川課】

【災害復旧・改良復旧】

○県南地域で被災した河川全425箇所(うち球磨川流域268箇所)の本復旧に向けて早期に災害査定を行い、今後順次、災害復旧・改良復旧に着手。【河川課】

山田川・護岸欠壊（人吉市）



被災状況 (R2. 7月4日時点)



応急復旧後 (R2. 7月20日時点)

万江川・護岸欠壊（人吉市）



被災状況 (R2. 7月4日時点)



応急復旧後 (R2. 7月17日時点)

万江川・護岸欠壊（山江村）



被災状況 (R2. 7月4日時点)



応急復旧後 (R2. 7月20日時点)

免田川・護岸欠壊（あさぎり町）



被災状況 (R2. 7月4日時点)



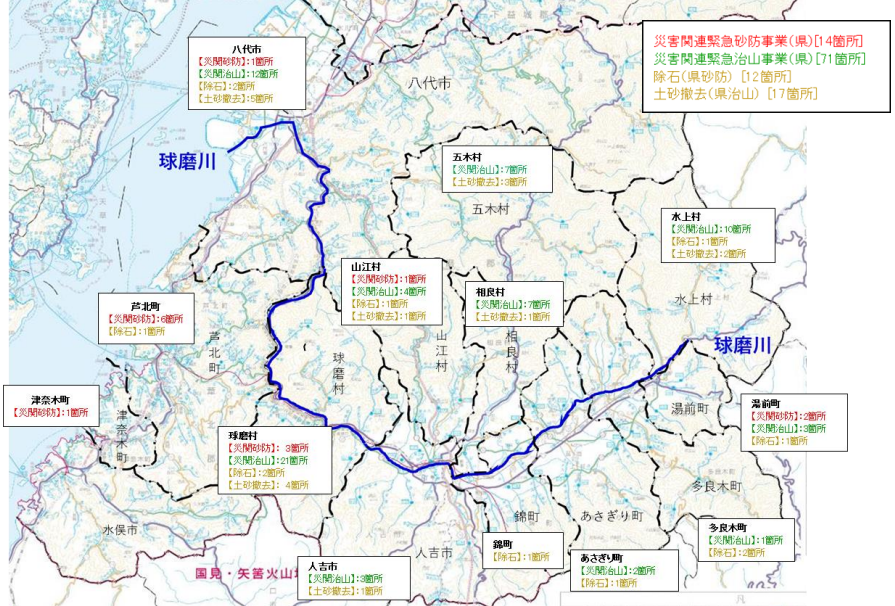
応急復旧後 (R2. 7月15日時点)

※権限代行（9河川）については当該集計に含まない。

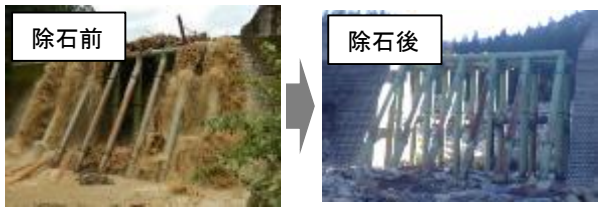
速やかな再度災害防止のための緊急治水対策

山地災害の早期復旧と砂防・治山施設の整備

- 砂防施設の整備【砂防課】
 - ・緊急的な砂防堰堤（14箇所）整備に係る設計完了、用地取得着手。
 - ・砂防堰堤の除石・流木撤去のうち緊急性の高いもの（11箇所）の実施。
- 治山施設の整備【森林保全課】
 - ・早急な復旧が必要な箇所（50箇所）の整備に着手。
 - ・異常堆砂した治山ダムのうち緊急性の高いもの（10箇所）の土砂や流木の撤去。



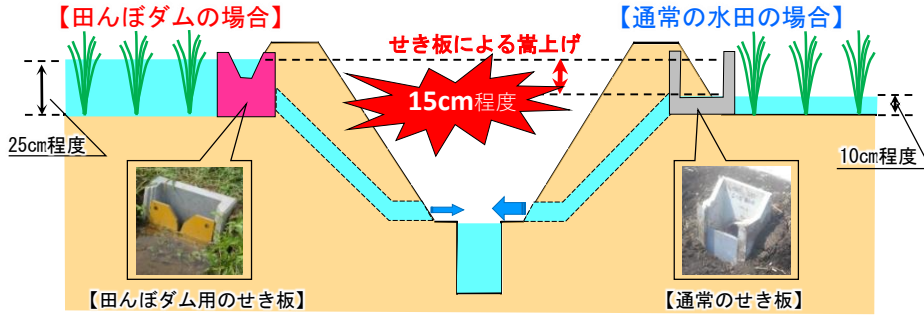
※例：堆積土砂を緊急的に撤去（牧良川砂防堰堤（湯前町））



「田んぼダム」の推進

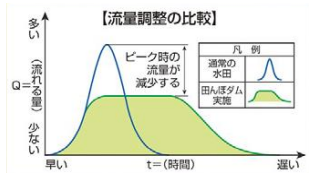
- 水田の排水樹に流量調整の「せき板」を設置し、雨水貯留効果を高める「田んぼダム」について、関係機関等への説明後、モデル地区の選定、実証を実施。【農村計画課】

田んぼダムの仕組み



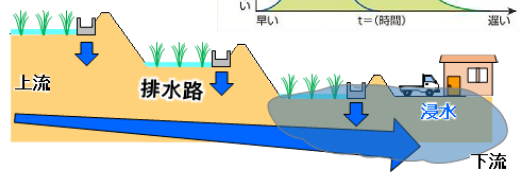
田んぼダムの特徴

- ・雨水をできるだけ水田に貯留することで、ピーク時の流量を減少させ、水田からの流出が緩和。



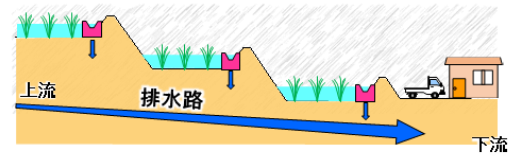
通常の水田の場合

ゲリラ豪雨や想定外の豪雨時には、下流に浸水被害が発生。



田んぼダムの場合

水田に雨水を貯留し、排水路への流出を遅らせ浸水を防止。



幸野溝・百太郎溝の事前放流

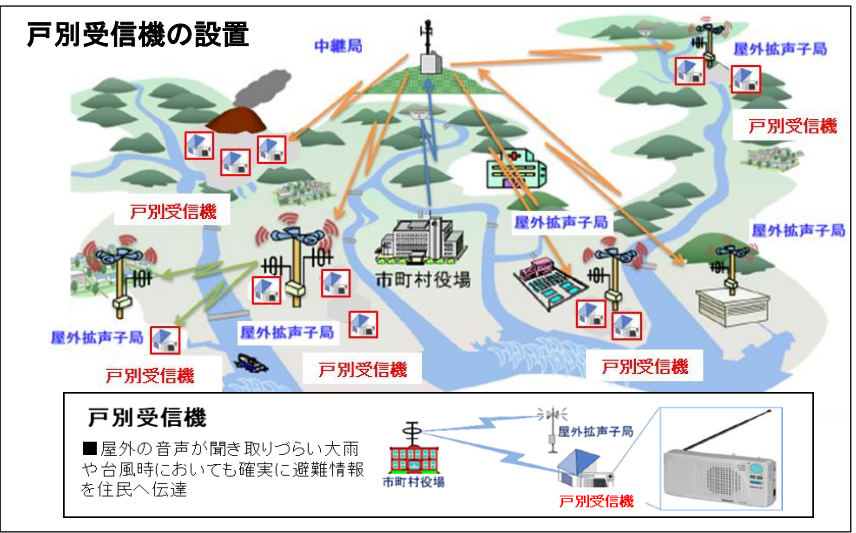
- 大雨が予想される際に、事前に球磨川の取水ゲートを閉め、水路を空にする「事前放流」の取組みを引き続き実施。【土地改良区】

“生命・財産を守る” 地域防災力の強化

災害時の命綱となる伝達機能の強靱化

【防災行政無線等の戸別受信機の設置】

- 各市町村において、防災行政無線等の戸別受信機未設置世帯への設置を推進するとともに、戸別受信機等を活用した情報伝達・避難訓練を実施。
- 各市町村における防災行政無線等の戸別受信機の設置等を強力に支援。【川辺川ダム総合対策課】
- 戸別受信機の設置完了までは、防災行政無線（屋外拡声子局）や消防団、緊急速報メール等による呼びかけを多重的に実施。
- ※人吉市は、送信局を整備し、防災ラジオ（戸別受信機）の全世帯設置（R3年度中）に向けた取組みを実施。
- ※八代市は、防災行政無線や電話、FAXに、一斉に情報配信する新システムの運用を開始。（R3年度～）



【緊急警報サイレンによる避難呼びかけ】

- 避難勧告等発令時において、防災行政無線の屋外拡声子局を活用した緊急警報サイレン吹鳴による避難呼びかけを実施。

【河川監視カメラ、水位計の増設、映像配信】

- 今回の豪雨で被災した河川監視カメラ1基、水位計2基の復旧及び万江川への河川監視カメラ2基、水位計2基の増設。また、観測機器の配置計画を見直し、更なる増設を検討。【河川課】
- 熊本県防災情報共有システムを活用し、県南地域で95箇所の河川監視カメラ情報を配信。【河川課】



【通信回線の多重化、災害時応急体制の構築等】

- 熊本県総合行政ネットワーク（LGWAN）について、NTT人吉中継局から球磨地域振興局のネットワーク回線を二重化。【情報政策課】
- 通信事業者との連携による移動基地局車の配備、衛星携帯電話の貸出しによる災害時応急体制を構築。【危機管理防災課】
- 災害時の脆弱性の洗い出しなど、防災通信機能の強靱化に係る通信事業者との検討会議を開催。【危機管理防災課】

“生命・財産を守る” 地域防災力の強化

確実な避難による「逃げ遅れゼロ」

【浸水想定区域図の作成とL2ハザードマップ作成】

- 球磨川及び川辺川の国管理区間、水位周知河川4河川について、想定最大規模（L2）の浸水想定区域図を作成済み。県ホームページ防災情報くまもとに掲載。※五木村は浸水想定エリアなし。
- L2に対応したハザードマップを作成し、配布又はホームページに掲載。【人吉市、相良村、津奈木町を除く9市町村】
- （来年の梅雨時期までのL2に対応したハザードマップ作成が困難なため）L2の浸水想定区域図を全世帯に配布（令和3年度中にハザードマップ作成）。【人吉市、相良村、津奈木町】
- 県管理支川（73支川）について、L2の浸水想定区域図を作成。【河川課】



防災情報くまもと



※令和2年3月にL2対応版を作成

※L2浸水想定区域図掲載

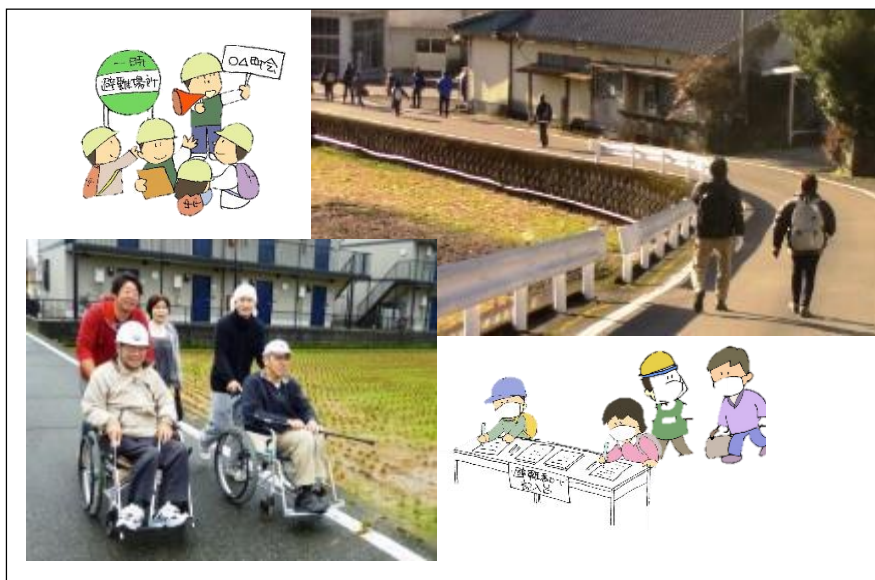
災害弱者への支援の徹底

【避難行動要支援者の個別計画策定等】

- 避難行動要支援者のうち名簿情報提供同意者について、個別計画作成率100%を目指して作成（支援）。【健康福祉政策課】
- 県、市町村が連携した、個別計画に基づく、訓練実施。【健康福祉政策課】

【住民参加型訓練の実施】

- 「自分の命は自分で守る」意識を醸成するため、自主防災組織と連携し住民が主体的にハザードマップ等を確認し、避難行動を行う訓練を実施。



【要配慮者利用施設での早期の避難確保計画作成】

- 要配慮者利用施設向けの避難確保計画について、計画策定率100%を目指して、説明会を開催。【河川課】
- 要配慮者利用施設の避難訓練実施に向けた研修会開催。【河川課】